



12月新着本案内

2020年12月号
瀬木学園図書館



●『感情の整理学』和田秀樹著
先の見えない不安でストレスだらけの毎日です。精神科医の著者が、不安を手放すヒントを教えてください。負の感情から解放され、穏やかに生きるための本です。(141.6/ワ)



●『絵本がひらく心理臨床の世界』前川あさ美, 田中健夫著
絵本によって揺さぶられ、ほぐされる心の在りようを、心理臨床の視点から、ときには親の視点から読み解きます。(146.04/Ma27)

★「SDGsのきほん：未来のための17の目標」シリーズ

- 『貧困』(333.8/エ/1)
- 『飢餓』(333.8/エ/2)
- 『健康と福祉』(333.8/エ/3)
- 『教育』(333.8/エ/4)
- 『ジェンダー』(333.8/エ/5)
- 『水とトイレ』(333.8/エ/6)
- 『エネルギー』(333.8/エ/7)



全18巻のシリーズ(入門編1冊、目標17冊)のうち、今回は目標の1～7巻が入りました。
※今後も刊行され次第、受入していきます。



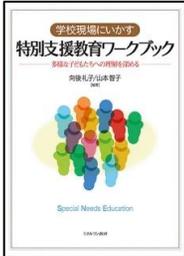
●『それでも生きる』石井光太著
発展途上国の子どもが生きる現実には厳しいものです。貧困・飢餓・児童婚・戦争・・・世界中を歩いた著者が書く、本当の国際協力の現場です。(368.2/イ)



●『学校現場で役立つ教育相談』藤原和政, 谷口弘一編著
子どもの抱える問題を理解するために、今日の学校現場で求められる教育相談について解説されています。(371.43/F68)



●『ポスト・コロナショックの授業づくり』奈須正裕編著
コロナが学校にもたらした課題について、理論的・実践的に検討し、多様な事例で課題との向き合い方を考えます。(375.1/N56)



●『学校現場にいかす特別支援教育ワークブック』向後礼子, 山本智子編著
障害についての基礎的な知識と対応の際の留意点がまとめられています。各章にはワークも載っています。(378/コ)



●『解体新書 復刻版』杉田玄白, 前野良沢訳
1774年、杉田玄白と前野良沢らによって出版された日本最初の西洋医学の翻訳書、それが『解体新書』です。初版の初刷りに近いとみられる版の復刻版です。(491.1/ス)



●『人体の取扱説明書』Newton編集部著
体の不調は「正しい使い方」を知っていれば防げるものもあります。人体のトリセツを見ながら、自分の体のことを学び、健康に過ごせるようにしましょう。(491.3/ジ)



●『消化・吸収・代謝と栄養素のすべてがわかるイラスト図鑑』ニュートリションケア編集室編
栄養素の体内での役割、代謝への影響、疾患とのかかわりが、コンパクトな文章と豊富なイラストでやさしく学べます。(498.56/ニ)

★「知ってふせごう!身のまわりの感染症」シリーズ

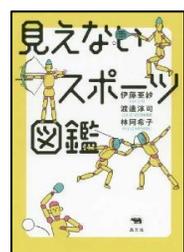
●『感染症ってなに?』(493.8/コ/1)
●『感染症をふせぐために』(493.8/コ/2)
●『感染症の種類と歴史』(493.8/コ/3)
新型コロナをはじめとする感染症を正しく知り、予防する第一歩となるシリーズです。様々な側面から、感染症が解説されています。絶対知っておきたいことが載っています。



●『2品献立、はじめました。』市瀬悦子著
そろそろ一品ごはんから卒業しませんか? 忙しくても作れる、がんばらずにできる104レシピが載っています。簡単・おいしい・大満足の「献立」入門です。(596/イ)



●『スポーツ栄養学最新理論 2020年版』寺田新編著
世界のスポーツ栄養学における最新の知見が紹介・解説されています。『エッセンシャルスポーツ栄養学』と一緒に読むと、より理解が深まります。(780.19/テ/2020)



●『見えないスポーツ図鑑』伊藤亜紗ほか著
視覚障害の方々にスポーツの臨場感を伝えるにはどうしたらよいか・・・観戦ではなく、「感戦」「汗戦」とは? 試行錯誤しながらも、諦めない研究者たちの抱腹絶倒のドキュメンタリーです。(780/189)

書名の前に●がついている本は分館に置いています。(●がない本は本館に置いています。)